

## 令和4年度はなぞの保育園自己評価

### 令和4年度保育において良くできたと思うこと（努力したこと）

- ・職員間での話し合い連携を図り、子ども一人ひとりと丁寧に関わり、個人のペースで生活出来るように努めた。
- ・子どもたちが安心して過ごせるよう信頼関係を築き、気持ちを受け止め、できること、挑戦していることは見守り、子どもたちが「できた」と、言う思いに共感し、自発的に行動できるよう心掛けた。
- ・保護者の方と家庭との連携を取りながら子どもの情緒の安定を図ることに努めた。
- ・子どもたちに愛情を持って接し安心して過ごせるようにした。肯定的な言葉かけを心掛けた。
- ・わからない時、悩んだ時不安な事は1人で抱え込まず主任、クラス主任や他の保育士に相談し解決出来るように努めた。
- ・送迎時など保護者の方とのコミュニケーションを図るように心掛けた。
- ・知り得た情報は守秘義務を守り、園児には寄り添う言葉かけや態度で接することに努めた。
- ・子どもたちに対する気付きや大切なやり取りを、日々メモを取り記録する習慣がついた。
- ・(栄養士) 子どもたちが食に興味を持てるように献立の作成に努めた。離乳食は家庭の進め方に配慮し保育士と話し合いながら個々に合わせて調理することが出来た。

### 令和4年度保育においてこれからの課題と思ったこと

- ・1年間の見通しを持って積極的に玩具の製作など計画的に進める。
- ・保育士による園児に対する虐待等の不適切な保育が大きく報道され自分の振る舞いに対して考え直すことが多い1年だった。保育士として欠けている所があったので、子どもたちの人権を尊重し、言葉遣いに気を付けて、保護者の方に不信感を持たれないように、子どもたちに最良の関わり方が出来るように努めて行きたい。
- ・職員間の連携、報告、連絡、相談をしっかりと行い、メモに残す習慣をつける。
- ・保育の質を高められるようまた、保護者の方とのコミュニケーションが上手く取れるように、専門知識を身につけたい。
- ・(栄養士) 新メニューへ取り組み、リスクチェックによる食中毒防止対策の徹底。  
子どもたちとの関わりが少なかったので今年度より機会を増やし、食事の提供だけではなく、食べている様子など把握していきたい。

### 総評

- ・昨年度の反省を生かし行事のあり方、進め方を検討し、進めて行った。

昨年度の課題として保育士だけではなく、他職種の職員も保育に関わる時間を作って、連携を図ることをあげていたが、まだまだ取り組めていないので時間を作っていく必要がある。

保育士の虐待等の不適切な保育の報道を耳にすると、「はなぞの保育園は大丈夫か」と、保護者の方も不安に思われている方もいらっしゃると思うので、保護者の方が安心してお仕事出来るように、些細な気付きや心配なことを解決出来る環境作りを目指したい。

職員間の連携は取れているので、お互いが気に掛けて注意し合える関係性を結んでいきたい。

(自己評価は、保育士、栄養士、看護師を含む)